

昭和の過去問 戦後史Ⅲ 高度経済成長～現代

NO1 高度経済成長の終焉と貿易摩擦 早稲田（商）2014

1950年代半ばから始まる日本のイ高度経済成長期は、【ロ】、年功序列賃金、企業別労働組合に象徴される「日本の経営」が機能した時期でもあった。

しかし、1974年、第1次オイルショックの影響により、ハスタグフレーションとよばれる現象が生じ、高度経済成長は終焉を迎えた。当時の政権はニ田中角栄内閣である。その後、日本経済は、減量経営などを通じて安定成長へと移行する。

安定成長の中で、公的部門の肥大化が問題とされ、1980年代初頭の鈴木善幸内閣では、「【ホ】なき財政再建」の方針のもとで行財政改革への動きが進展した。鈴木内閣に続くへ中曽根康弘内閣は「戦後政治の総決算」を掲げ、各種の施策を実行した。

ところで、日本が経済大国へと発展する過程では、対外経済摩擦が生じた。アメリカでは、1980年代前半に「【ト】の赤字」が急速に拡大し、それが1985年9月の【チ】へとつながった。ドル高是正などを盛り込んだ【チ】を受けて、円高が加速するとともに、日本には内需拡大策の発動が求められた。また、日米間の貿易摩擦では、リ日本製品の輸出量を自主的に規制する措置がとられることがあった。

問A 下線部イの説明として、正しいものを1つマークしなさい。

1. 白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫は「いざなぎ景気」の時期に普及し始めた。
2. 「なべ底不況」から脱し、次に「オリンピック景気」と呼ばれる好況が生じた。
3. 「岩戸景気」をきっかけとして高度経済成長が始まった。
4. 「神武景気」は高度経済成長中で最長の好況期にあたる。

正解→1

問B 空欄ロに該当する語句を漢字4字で記せ。

正解→終身雇用制

問C 下線部ハの説明として、正しいものを1つマークせよ。

1. 物価の動きと経済成長が同時に止まる現象
2. 物価の下落と好況が同時に発生する現象
3. 物価の下落と不況が同時に発生する現象
4. 物価の上昇と好況が同時に発生する現象
5. 物価の上昇と不況が同時に発生する現象

正解→5

問D 下線部ニの当時の出来事として、正しいものを1つマークせよ。

1. 公害や環境問題に対応するために、環境庁が設置された。1970年✕
2. 国土の総合的な開発を図るために、国土庁が設置された。○
3. 日本と中国の国交回復により、日中平和友好条約が締結された。福田内閣✕
4. 日本とアメリカの間で結ばれた沖縄返還協定にもとづき、沖縄の返還が実現した。佐藤内閣✕

5. 防衛費を国民総生産の1%以内に抑制することが閣議決定された。

正解→2

問E 空欄ホに該当する語句を漢字2字で記せ

正解→増税

問F 下線部への当時の出来事として、正しいものを2つマークせよ。

1. 電電公社、専売公社、国鉄の民営化が実施された。○
2. 国際平和協力法（PKO法）が成立した。
3. 臨時教育審議会が設置された。○
4. 税率3%の消費税が導入された。
5. 第2次臨時行政調査会が設置された。

正解→1・3

問G 空欄トに該当する語句を漢字2字で記せ。

正解→双子

問H 空欄チに該当する語句を漢字5字で記せ。

正解→プラザ合意

問I 下線部リについて、日本の自動車輸出をめぐる日米貿易摩擦では、輸出台数を自主的に制限する措置がとられた。輸出自主規制のもとで収益を確保するために、自動車業界はどのような対応を行ったかを40字以内で記せ。

正解→アメリカに工場を設置して、現地雇用者を確保し、現地で生産・雇用を拡大させた。

NO2 1980年代以降の経済と政治 早稲田（商）2016

1980年代後半以降、輸入よりも輸出が超過する状態が定着した日本経済は膨大な【a】をため込んでいたが、イ1985年9月の「プラザ合意」による急速な円高は、輸出型の産業に大きな打撃を与えた。輸出型産業を中心とする不況により、国内の設備投資はあまり進まなかった。政府や日本銀行は、この不況に対処するため、【b】主導型の経済を促し、公共投資の拡大や超【c】政策を実行した。それらの結果生じた余剰資金の投資先に困っていた企業や銀行などの金融機関は、土地や株式を投機的に購入し、返済可能性が高くない企業にも積極的に資金の貸付を行った。こうして、不動産市場や株式市場に大量の資金が流れ込み、地価や株価が投機的に高騰するという、いわゆるロバブル経済がしばらくの間、続いた。

バブル経済によって、資産や所得の格差が拡大したため、政府や日本銀行は、土地への融資の規制や金利の引き上げを行った。そのため、地価や株価は急激に下落し、投機を行った企業の一部が倒産し、借りた資金を返済できないという金融機関の不良債権問題が起り、ハ実体経済の不況に波及した。各企業は、この不況を乗り切るため、事業の整理や海外展開、またニ大量の人員削減を行った。政府による種々の規制やコスト高を嫌った企業は、主にアジア諸国に工場を移転し、そのことによって国内産業の一部が衰退するといった、産業の【d】現象が起り、日本企業の多国籍化が急速に進んだ。また政治的に見ると、バブル経済の頃は汚職事件が頻繁に起り、ホ内閣が次々に代わった。

問A 空欄aに該当する語句を漢字4字で記せ。貿易黒字 これは難問★★

問B 空欄bに該当する語句を漢字2字で記せ。内需

問C 空欄cに該当する語句を漢字3字で記せ。低金利

問D 空欄dに該当する語句を漢字3字で記せ。空洞化

早慶の日本史研究

Pain is inevitable Suffering is optional

問 E 下線部 **イ** に関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. この合意は第一次中曽根内閣の時になされた。
2. この合意に関する会議の参加国は、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツであった。
3. この合意の名称は、会場となったニューヨークのホテルの名前にちなんでいる。
4. この合意の2年後には、イタリア、カナダが会議に加わった。
5. この合意の直前には1ドル=240円台だったが、1年後には1ドル=150円台に上昇した。

誤文→5

問 F 下線部 **ロ** に関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. この間に、日米の貿易摩擦解消のため、日米構造協議が開催された。
2. この間に、政治家や官僚などへ未公開株を譲渡したリクルート事件が起こった。
3. この間に、日本の政府開発援助 (ODA) が初めて世界第1位となった。
4. この間に、牛肉・オレンジの輸入自由化に関する日米の最終合意が得られた。
5. この間に、日米半導体協定が廃止された。

誤文→3 ODA 世界第1位はバブル経済以前のことである

問 G 下線部 **ハ** に関して、後に何と呼ばれるようになったのかについて、もっとも適当なものを1つマークせよ。

1. IT不況
2. 円高不況
3. 複合不況
4. 証券不況
5. 構造不況

正解→複合不況 (教科書 413 ページ)

問 H 下線部 **ニ** について、企業が人員削減を行った結果、その後の日本経済にどのような影響を与えたのかを、30字以内で記せ。

解答→大量の失業者に伴う雇用不安が消費を鈍らせ不況を長引かせた。

問 I 下線部 **ホ** に関して、この頃の内閣の時系列順序として正しいものを1つマークせよ。

1. 中曽根-竹下-宇野-宮沢-海部
2. 中曽根-竹下-海部-宇野-宮沢
3. 中曽根-竹下-宮沢-宇野-海部
4. 中曽根-竹下-宇野-海部-宮沢
5. 中曽根-竹下-海部-宮沢-宇野

正解→宇野のスキャンダルを受け、クリーンな海部、その後宮沢で4

NO3 高度経済成長 早稲田 (法) 2018

第2次世界大戦後の **a アジア各国は、次々と高度経済成長の時代をむかえる**。日本の高度成長期は、1955年から1973年までとされるのが通常である。

b 1955年には、国民一人当たりの国民総生産 (GNP) が戦前の水準を回復し、1973年まで日本経済は年平均実質経済成長率 10%前後を記録する。 **c 日本の高度成長の基礎には複数のものが考えられるが、1968年には国別の GNP で日本が【A】を追い抜いて資本主義国第2位となった。** 高度成長は、年功賃金、【B】、労使協調の3つの特徴で表現される日本的経営を成立させる。さらに **d 高度成長は国民の生活水準を上昇させて消費革命という状況を生み出すとともに、加工食品・既製衣料品・耐久消費財の登場が流通革命を生じさせることになった。**

しかし、高度成長期の経済優先の企業活動は全国で都市環境の悪化や公害問題を引き起こす結果となった。チッソの工場排水によって引き起こされた【C】への対応に典型的に

みられるような、政府の公害問題や都市問題への対応の遅れが、全国に **e 革新自治体** を成立させることになる。ようやく1970年11月に開催された第64回臨時国会で【D】基本法が改正され、いわゆる経済調和条項が削除された。

高度成長期の終盤の1971年 **f 2つのニクソン・ショック** が日本をおそう。そして、1973年10月の第4次中東戦争によって第1次石油危機がおり、1974年の日本の実質経済成長率がマイナスとなった。これによって日本の高度成長は終焉をむかえた。

問

1 下線 a について。大韓民国は1960年代後半から高度成長期を迎えるが、この成長の基礎の1つに、日韓基本条約の締結による日韓外交正常化がある。この日韓基本条約や、同時に締結された協定や交換公文で処理された事項について、明らかに誤っているものを1つ選び、マークしなさい。

- あ 韓国併合条約の失効を確認する。
- い 李承晩ラインを撤廃する。
- う 韓国政府が朝鮮にある唯一の合法的な政府であるか否かについて棚上げの処理をする。
- え 相互の関係において、国際連合憲章の原則を指針とする。
- お 大使の資格を有する外交使節を交換する。

誤文→う

2 下線 b について。日本の国際社会への復帰の進展を示すものとして、1955年と56年に生じた出来事でないものを2つ選びマークしなさい。

- あ 日ソ共同宣言調印
- い 国際通貨基金加盟
- う 国際連合加盟
- え GATT加盟
- お 日中平和友好条約締結

正解→お

3 下線 c について。高度成長の基盤となったものとして誤っているものを2つ選び、マークしなさい。

- あ 1ドル=360円という、実質よりも円安の為替レートに固定されたことで海外輸出を増大できた。○
- い 地域別で経営されていた戦前の小規模電力会社を全国1つの電力会社に統合することで、安価な安定的な電力の発電、送電の体制を作り上げた。✖ 1つでない
- う 敗戦で廃墟になったが、戦前のアジア屈指の重工業技術力は残されており、重工業の技術革新をほぼ自力で達成できた。
- え 農業や都市自営業の家族従業員の形で存在していた過剰人口が、高度成長に必要な労働人口の供給源となった。○
- お 高い貯蓄率を背景に、金融機関が民間産業に積極的に融資した。

誤文→

4 空欄 A に入る国名を1つ選べ

- あ フランス
- い イギリス
- う オーストラリア
- え 西ドイツ
- お イタリア

5 空欄 B に入る語句を記せ。 正解→終身雇用